

基本練習問題 10-1

<解答>

製造間接費部門別配賦表

(単位：円)

摘 要	配賦基準	合 計	製造部門		補助部門	
			切削部門	組立部門	修繕部門	工場事務部門
部門個別費		544,500	198,550	250,100	63,300	32,550
部門共通費						
建物固定資産税	専有面積	64,000	22,000	28,000	8,000	6,000
建物減価償却費	専有面積	152,000	52,250	66,500	19,000	14,250
福利厚生施設負担額	従業員数	31,500	10,800	16,200	2,700	1,800
共用部分の電気料金	電力消費量	88,000	26,400	39,200	17,000	5,400
部 門 費		880,000	310,000	400,000	110,000	60,000

(借) 切削部門費 310,000 (貸) 製造間接費 880,000
 組立部門費 400,000
 修繕部門費 110,000
 工場事務部門費 60,000

【解説】

部門別原価計算のうち、部門共通費を適切な配賦基準を選択したうえで各部門に配賦し、部門個別費と合算することで各部門費を計算する手続きを問う問題である。建物固定資産税と建物減価償却費は専有面積、福利厚生施設負担額は従業員数、共用部分の電気料金は電力消費量でそれぞれ配賦する。したがって、それぞれの部門共通費を配賦する計算式は次のようになる。

- ・建物固定資産税
 - 切削部門 $64,000 \times 110 \div 320 = 22,000$
 - 組立部門 $64,000 \times 140 \div 320 = 28,000$
 - 修繕部門 $64,000 \times 40 \div 320 = 8,000$
 - 工場事務部門 $64,000 \times 30 \div 320 = 6,000$
- ・建物減価償却費
 - 切削部門 $152,000 \times 110 \div 320 = 52,250$
 - 組立部門 $152,000 \times 140 \div 320 = 66,500$
 - 修繕部門 $152,000 \times 40 \div 320 = 19,000$
 - 工場事務部門 $152,000 \times 30 \div 320 = 14,250$

・福利厚生施設負担額

切削部門 $31,500 \times 12 \div 35 = 10,800$

組立部門 $31,500 \times 18 \div 35 = 16,200$

修繕部門 $31,500 \times 3 \div 35 = 2,700$

工場事務部門 $31,500 \times 2 \div 35 = 1,800$

・共用部分の電気料金

切削部門 $88,000 \times 1,320 \div 4,400 = 26,400$

組立部門 $88,000 \times 1,960 \div 4,400 = 39,200$

修繕部門 $88,000 \times 850 \div 4,400 = 17,000$

工場事務部門 $88,000 \times 270 \div 4,400 = 5,400$

最終的に、各部門の部門個別費と部門共通費を合算することで各部門の部門費が計算される。